

早春の「馬場島・中山」へ行く

2002年春山情報 2号 3/13

韓国への出張のため、しばらく「山」の姿え見ることができなかったが、代休ということで馬場島へ出かけることにした。天気はすばらしく、気温もほどよく春の霞がでないぎりぎりの天候でこのシーズンとしてはまずまずの条件といえよう。まだ春山シーズンは早く、富山県警の雪上車もお休みか。・・・・・・

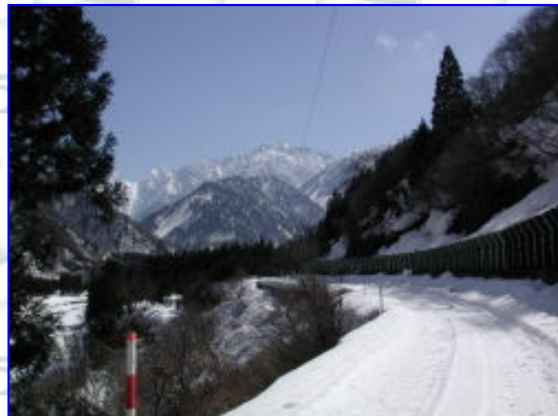


どんどん、高度が増すにつれ、展望が開けてきました。
昨年の春は、この辺で満足したのですが、・・・・ここまできるとやはり頂上まで行きたくなりました。

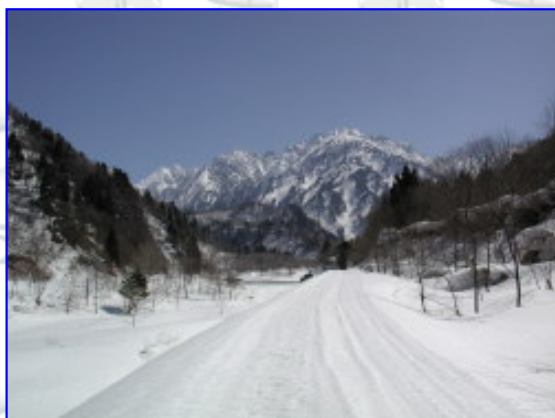


天気は上々・・・・こんなときは、いつきても「剣岳」は最高だ。伊折から馬場島まで、クロスカンリースキーで滑るように走る???もうだいぶなれて上達したので、楽に行けるようになった。雪上車の片側の幅が1mほどでクラシカル走法でちょうど、ぴったりとしたコースだ。もしレース感覚で走ればおよそ30分ほどでいけると思う。

でも、今日は・・のんびりと・・景色を楽しみながら。



このシーズン唯一の難所・・・さほどでもないが。
雪上車もなだれの時は、こちらで待機することになる。・・・山岳警備隊も原則的にはここから「歩き」だ。
剣岳が正面に見えてきた。ほとんど足跡のないコースを快適に走る・・・



ついに、馬場島に到着・・・一応、登山届でも・・・しかし、山岳警備隊は常駐していませんでした。
積雪状況はご覧のようです。・・・左の写真の建物が山岳警備隊の派出所です。・・・背景が「剣御前」です。



結局、「中山」へ登ることになってしまいました。
現在、「中山」へのコースでもっとも大変なのは登山口から右の写真への「取り付き」です。
夏の道だったら、まさに「遊歩道」なのですが、・・・やわかい雪のため、多少ラッセルするような気分で、ちょっと体力を
消耗してしまいました。・・・久しぶりの「ハードな行程」で途中断念も考えたほどです。
でも、尾根までくると、どんどん高度を増し、雪がしまって歩きやすくなりました。



とうとう、「中山」の頂上に到着しました。
やはり、いつ見ても、すばらしい展望です。近くで見る「剣岳」は感動です。
今年の最新情報は、幸先のよいスタートをきることができました。



いよいよ、剣岳も春山シーズン到来です。馬場島・中山へいってきました。
クロスカントリースキーが快適で、充分余裕があったので、結局「中山」まで登ってしまいました。
雪のしまりもよく、稜線は比較的スムーズに登ることができました。
ただし、まだ、「硬い雪面・・・アイゼンが安全、やわらかい雪面・・・「わかんじき」かスノーシューが必要」が交互にあるので、両方の準備が必要だと思います。
ピッケルが絶対必要な急斜面はありません。・・・使用した方が楽ですが。
早月川沿いの道路は開通しました。・・・滑川インターからは40分程度で伊折に着きます。
途中、多少のオフロードは我慢してください。

今日の日程

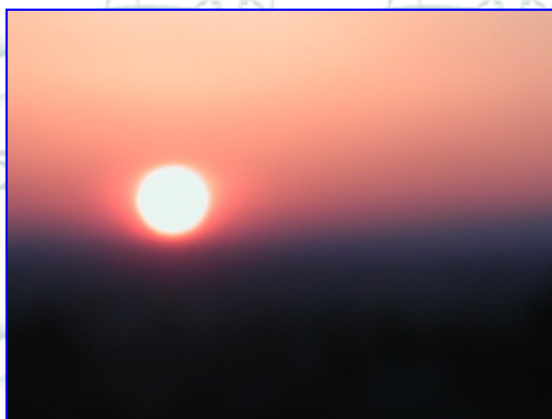
自宅 9:30 - 伊折 10:00 - 剣青少年の家 10:30 - 馬場島 11:40 - 中山登山口 12:00 - 「中山」頂上 14:00 - 中山登山口 15:10 - 伊折の橋 16:20 - 自宅 17:00

早月川には、砂防ダムがいくつもありますが、この付近の砂防ダムはもっとも大きいものです。途中に、砂防ダムの展望台があります。林道の向こうに剣岳が見えます。まもなく、剣青少年の研修センターにつきます。ここから馬場島までは6Kmほどです。4月上旬頃は、全線開通しても、ゲートが閉められたままで、通行止めとなり、アスファルトの道を歩かねばなりません。



帰りのコースから1枚・・・この季節に「中山」へのアクセスは、手前の道から歩いて登ったほうが一番のぼりやすいようです。昨年の春はここから下ってきました。

右の写真は、自宅へ帰る途中の夕日・・・能登半島にかかる夕日があまりにも大きく、美しかったので・・・



「中山」までの稜線は夏の登山道ではほとんどその姿は見えませんが、今日は完全に稜線の上を行ったので「剣岳」の雄姿を見ることができました。

